

## 血管外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

### 記

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 研究課題名                 | 胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の治療成績   |
| 研究機関の長                | 愛知医科大学病院 病院長 道勇学   |
| 研究責任者                 | (所属) 血管外科 (職名) 教授 (特任) (氏名) 折本有貴   |
| 研究の対象となる方             | 2009年1月から2029年12月までに胸部大動脈瘤に対してステントグラフト手術を行った患者さん   |
| 研究期間                  | 研究実施承認日～2030年1月31日   |
| 研究の意義・目的              | 当院での胸部大動脈瘤に対するステントグラフト手術の治療成績を中長期も含めて検討します。  |
| 研究方法                  | 対象患者さんの手術成績や中長期の大動脈関連死亡回避率、全生存率、二次治療回避率を解析し、CTで大動脈瘤径の変化を計測し中長期成績を調査します。周術期の重篤な合併症(脳梗塞、逆行性A型解離)や再治療を要する患者さんの要因を明らかにします。 |
| 研究に用いる試料・情報           | 診療情報から、年齢、性別、基礎疾患、CT画像(術前の大動脈瘤の形態、術後瘤径の推移)を使用します。  |
| 提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者 | 非該当  |
| 試料・情報を利用する学外の者        | 非該当  |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合  | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は下記問い合わせ先まで申し出てください。   |
| 外国への試料・情報の提供          | 非該当  |
| 問い合わせ先                | 愛知医科大学病院 血管外科<br>担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 折本 有貴<br>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1<br>電話 0561-62-3311 (内線 22140)                |